

東京経済大学国際交流会館

-交流が盛んな過ごしやすい寮を目指す-

東京経済大学国際交流会館は令和6年からRA活動がスタートしました。当初、寮生同士の交流が全くない寮でした。最終的には交流が活発な寮にすることを目標に、今年度は寮生にイベントに慣れてもらい、今後の活動の基礎となる土台作りをメインに活動しました。

RA 加藤陽貴、上遠野尚也、濱田悠希

活動内容

1 あいさつ啓蒙

寮生同士の交流のきっかけを作るべくあいさつの啓蒙活動をポスターで行いました。



2 夏の交流会

RAプログラムが始まって初めての対面イベントを開催しました。イベント自体は盛り上がった一方、参加者が2人のみで、課題が残りました。

アンケートでも非対面であることが最も評価されていました。また、中には交流のきっかけになったと言ってくれた方もいました。

この啓蒙活動以降、明らかにゴミ出しのマナーが良くなったと寮長寮母さんからも褒めの言葉をいただきました。

3 RA三人体制

RAが二人増え、現在の三人体制となりました。これにより、今までよりも多くのアイデアが出るようになりました。



4 ビンゴ大会

いつでも参加できる非対面の設置型イベントを開催しました。参加者は17人にもなり、グループlineも20人に増加しました。



5 清掃の啓蒙

消防点検時に状態がよくない部屋が散見されたため、定期的な部屋の掃除をポスターで啓蒙しました。同時にゴミ出しのルールも改めて確認してもらいました。



6 QRコードラリー

寮則の確認をしてもらうための非対面イベントを開催。寮内に隠されたQRコードを読み取り、寮側に関する問題に回答するというものでした。



「まとめ」

この1年間は大きな一歩であったと思います。RA開始当初、交流が一切なく、どのような活動をすればよいのか先が見えませんでした。しかし試行錯誤の結果、寮生の中には交流を求める声も上がり始めました。以前は全く使われなかったエントランスにも、たまに人が集まって話している姿が見られます。寮則も守られるようになり以前よりも住みやすい寮となりました。今後も活動を続け、RAと寮生と寮長寮母さん全員が住み良い寮であると思えるようにしていきたいです。